

近畿大学医学部免疫学教室で実施する研究に関して

近畿大学医学部免疫学教室（以下、当科）では、東京大学を研究代表機関として実施中の「個々のがんの遺伝子変異に基づく固有抗原の同定と腫瘍内微小環境の解析に基づく免疫制御法を組み合わせた個別化がんワクチン治療の開発」という臨床研究に参加します。この研究は、近畿大学医学部倫理委員会 (<https://www.med.kindai.ac.jp/rinri/index.html>) で審査・承認を受け、医学部長による実施の許可を受けて行われます。

① 試料・情報の利用目的及び利用方法

この研究では、正常の細胞とは異なるがん細胞にだけ認められる「遺伝子の異常」について調べ、がんワクチン治療や新しいがん免疫治療法を開発することを主な目的としています。この研究に用いる試料や情報は、東京大学において、患者様個人が特定されないようにした上で当科に提供されます。個人情報に関しては、東京大学において厳重に管理されています。

② 利用し、又は提供する試料・情報の項目

- カルテ情報（年齢、性別、診断名、臨床病期、治療方法、予後に関する情報）
- 凍結保存された組織・リンパ球・血漿・DNA・RNA
- シークエンスデータ

③ 利用又は提供を開始する予定日 近畿大学医学部倫理委員会で承認され次第開始します。

④ 試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名

試料・情報の提供元 東京大学医学部附属病院 病院長 田中 栄

⑤ 提供する試料・情報の取得の方法

試料は東京大学で凍結保管されており、ドライアイスとともに梱包され宅配便で当科に送付されます。データはパスワードで保護されたHDDにコピーされ、宅配便で当科に送付されます。

⑥ 提供する試料・情報を用いる研究に係る研究責任者（多機関共同研究にあつては、研究代表者）の氏名及び当該者が所属する研究機関の名称

東京大学医学部附属病院 研究責任者 長岡孝治

⑦ 利用する者の範囲

本学研究責任者および研究分担者

⑧ 試料・情報の管理について責任を有するものの氏名又は名称

東京大学医学部附属病院

近畿大学医学部

⑨ 研究対象者等の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用又は他の研究機関への提供を停止する旨

この研究では、患者様・ご家族様の診療情報が利用されることに同意できず、拒否されたい場合に、下記の方法により、いつでもその利用を停止することが可能です。また、利用の停止を受け付けた場合でも、その後の診療において一切の不利益を受けることはありません。

⑩ ⑨の研究対象者等の求めを受け付ける方法

下記までご連絡ください。なお、この研究に関するすべてのお問い合わせも下記で受け付けます。

[お問い合わせ先]

近畿大学医学部免疫学教室 垣見和宏

電話：072-366-0221（内線：3265）

以上